



東京国立近代美術館フィルムセンター小ホール(地下1階)

京橋映画小劇場 No. 34

ドキュメンタリー作家 羽田澄子

Sumiko Haneda: A Documentary Filmmaker

2016年8月9日(火) - 8月28日(日)

平素よりお世話になっております。今夏フィルムセンターでは、8月9日(火)から約3週間にわたって**特集上映「ドキュメンタリー作家 羽田澄子」**を開催いたします。

今年満90歳を迎えて尚、新作を制作中の羽田澄子は、岩波映画から『村の婦人学級』(1957年)で監督デビュー後、多くの教育映画や科学映画を手がけ、定年後も自由工房を拠点に次々と新境地を開拓するドキュメンタリー作品を発表し、多数の受賞歴に輝くなど、60年近く第一線を走り続けている記録映画作家です。

ぜひ、貴媒体にて本特集をご紹介しますようよろしくお願い申し上げます。

### ■本特集の見所■

- 羽田監督の計84本の監督作から、一挙26作品を18プログラムに組んだ初の大規模回顧上映。
- 羽田澄子監督のトークイベントを8月13日午後1:25から開催!
- フィルムセンターBDCプロジェクトが、羽田監督のボーンデジタル作品の保存用デジタルマスターを作成し、完成させたDCP(『あの鷹巣町のその後 前後編』『あの鷹巣町のその後—続編—』『終りよければすべてよし』『遙かな ふるさと—旅順・大連—』『そして AKIKO は…—あるダンサーの肖像—』)と、35mm(『嗚呼 満蒙開拓団』)での初上映!



### ■羽田澄子 (1926-)

1926年、大連生まれ。自由学園卒。「岩波写真文庫」の編集から映画製作に転身し、『教室の子供たち』(羽仁進、1954年)などの助監督を経、1957年『村の婦人学級』で監督デビュー。以後、岩波映画で多くの作品を手がけ、1977年、夫でプロデューサーである工藤充と初の自主映画『薄墨の桜』を完成、記録映画作家として新たな道を切り拓く。自由工房を拠点に、『早池峰の賦』(1982、芸術選奨文部大臣賞)や、『AKIKO —あるダンサーの肖像—』(1985)、『痴呆性老人の世界』(1986)、『歌舞伎役者 片岡仁左衛門』(1992-94)、『—続 住民が選択した町の福祉— 問題はこれからです』(1999)など話題作を次々に発表。現在新作に取り組んでいる。

【企画名】京橋映画小劇場 No. 34 ドキュメンタリー作家 羽田澄子  
【会期】2016年8月9日(火) - 8月28日(日)  
【休館日】月曜日  
【会場】東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)  
【料金】一般520円／高校・大学生・シニア310円／小・中学生100円／  
障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料  
【HP】<http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/kyobashi-za34/>

◆羽田監督作品 計 84 本 \*太字が本企画での上映作品です

1957	『村の婦人学級』	1977	『薄墨の桜』(監督自主)、『[三面マルチスライド] さつま』、『コカ・コーラのお話』
1958	『古代の美』	1978	公演記録映像 『バッコスの信女』、『Summertime in Japan(夏の日本)』
1960	『悲しみをこえて』、『昭和基地—第三次南極越冬隊の記録—』	1979	『加令 —肌の変化とそのしくみ—』
1961	『やまと山脈への道—第四次南極越冬隊の記録—』 『頌 齊藤知一郎』	1980	『上町 いまむかし』、『セファペラゾン』
1962	『昭和基地の五年』	1981	『鐵齋の画』、『早池峰神楽の里』
1963	『父 山田昌作の葬儀』	1982	『早池峰の賦』(監督自主)、『歌舞伎の魅力 菅丞相 片岡仁左衛門 —義太夫狂言の演技—』、『わがまち呉』
1964	TV 『テレビ医学研究講座 脳出血(リハビリテーション)』、『テレビ医学研究講座 神経症と分裂症』、『テレビ医学研究講座 胃の病体生理』	1983	『筑波 1983 —新構想大学の10年—』★ 『痴呆老人の介護』
1966	『伊勢志摩の旅』	1984	『日米文化交流の記録 —1983年—』 TV 『新日鉄アワー ザ・ビッグデー 83話 越冬!!初の南極体験 1958年2月11日』(毎日放送/岩波映画)
1967	『遠い海ではたらくおじさん』、『風俗画 近世初期』 『南極レポート'66—第七次越冬隊の記録—』	1985	『歌舞伎の魅力 音楽 おさん 茂兵衛 大経師昔暦にみる』 『AKIKO —あるダンサーの肖像—』★ 『よいワインはよい葡萄から ワインとサントリー』
1968	『もんしろちょう —行動の実験的観察—』	1986	『痴呆性老人の世界』、『歌舞伎の魅力 新歌舞伎』
1969	『狂言』	1990	『安心して老いるために』★
1970	『EXPO'70 コンピュートピア』、『南極観測十年の歩み』 公演記録映像 『瓜盗人』	1992	『歌舞伎役者 片岡仁左衛門 若鮎の巻 人と芸の巻(上)人と芸の巻(中)人と芸の巻(下)孫右衛門の巻』★
1971	『法隆寺献納宝物』	1993	ビデオ 『「安心して老いるために」資料 1 北欧の老人のケアシステム』★、『「安心して老いるために」資料 2 オーストラリアの老人のケアシステム』★
1971	ビデオ 『ビデオ版 現代臨床医学大系 糖尿病』、『ビデオ版 現代臨床医学大系 早期胃癌』、『ビデオ版 現代臨床医学大系 心音図』、『ビデオ版 現代臨床医学大系 リュウマチ熱』、『ビデオ版 現代臨床医学大系 母性保健』	1994	『歌舞伎役者 片岡仁左衛門 登山の巻』★
1972	『造船の技術革新—48万トンタンカーの建造—』、『大田区につたわる無形文化財』、『ふゆにくさはどうなるか』、『木と家』	1995	『角屋七郎兵衛の物語 —ベトナムの日本町—』★
1973	TV:『生きものばんざい』毎日放送、岩波 『生きものばんざい 14話 パンダはパンダ?』	1996	『女たちの証言 —労働運動のなかの先駆的女性たち—』★
1974	『生きものばんざい 21話 カモ 東京の婚約時代』、『生きものばんざい 27話 モンシロチョウの恋』、『生きものばんざい 51話 流れ藻 運命の乗合バス』、『生きものばんざい 59話 奇魚! 魚を釣る魚』、『生きものばんざい 65話 モモンガ 赤ちゃん日記』	1997	『住民が選択した町の福祉』★
1975	『BAMBOO(竹と日本人)』、『故郷の生まれ変わる時 港北ニュータウン第1部』、『篆刻・刻字 生活書の学習のために』	1999	『—続 住民が選択した町の福祉— 問題はこれからです』★
1976	『駿河銀行創立 80周年記念式典の記録』、『駿河銀行八十年史』、『公演記録映像 『東海道四谷怪談』、『変貌の十年 —滋賀県湖南工業団地の記録—』 TV:地球時代 『地球時代 フラスコの中の地球』、『地球時代 第2話 いま原子力発電は』	2001	『元始、女性は太陽であった 平塚らいてうの生涯』★
		2004	『山中常盤』★
		2005	『あの鷹巣町のその後 前後編』★
		2006	『あの鷹巣町のその後 —続編—』★ 『終りよければすべてよし』★
		2008	『嗚呼 満蒙開拓団』★
		2011	『遥かなる ふるさと —旅順・大連—』★
		2012	『そして AKIKO は… —あるダンサーの肖像—』★

\* ( ) は製作。記載なしは岩波映画製作所、★は自由工房

【本企画に関するお問い合わせ】

東京国立近代美術館フィルムセンター 事業推進室：白鳥・大澤・富田

電話：03-3561-0823 FAX:03-3561-0830 E-mail:nfc-pr@momat.go.jp 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6